

献 呈 の 辞

光田賢教授、土肥一史教授、そして渡辺稔教授の三人の先生が、本年度を最後に日本大学大学院知的財産研究科をご退職されます。

光田先生は、平成19年4月に法学部に着任され、平成22年4月に知的財産研究科が開設されると同研究科に移籍され、また、土肥先生、渡辺先生は、知的財産研究科が開設されると同時に着任され、院生の教育指導や知的財産に関する研究に取り組まれて来られました。その間、専門職大学院としての責務である、弁理士試験の合格者を輩出するとともに、院生の就職支援にもご尽力賜りました。

光田先生は、住友化学工業株式会社で、生物科学、生命工学研究所において主任研究員として研究を重ねられ、平成14年6月10日からは同社において技術経営企画室担当部長として管理部門の責任者を務められ、関連団体の各種委員も歴任された後、本学に着任されております。

土肥先生は、昭和50年4月以降福岡大学法学部に勤務され、その間、昭和63年2月から8月までドイツのマックス・プランク国際知的財産研究所にも在籍され、帰国後福岡大学大学院教授を経て、平成11年から21年度末まで一橋大学国際企業戦略科教授を務められた後、本学に着任されております。

渡辺先生は、住友電気工業株式会社横浜研究所で主任研究員、知的財産部技師長、同部部長を歴任された後、平成12年1月から21年6月まで住友電工知財テクノセンター株式会社社長、その後同センター顧問を兼務されると同時に、本学に着任されております。

三人の先生方は、本学において大学院知的財産研究科が開設された後も、学内外での委員等の要職に就かれ、知的財産研究科の発展にご尽力を賜りました。この間、法学部の同僚教員に与えられた様々な学究への視座など、大きな足跡を刻まれたことは論を待ちません。私たち、後輩が先生方お一人お一人の人柄に触れることにより得ることができた、有形・無形の財産は、得がたい価値を残して下さいました。

知的財産研究科は、先生方の退職と相前後して大学院法学研究科私法学専攻知的財産コースへと引き継がれていきますが、この7年間の先生方のご恩に報いるべく、私たち後継者達により、日本大学知的財産ジャーナルVol.10において、記念論文集を編纂し、献呈することができましたことは、まことに光栄に存じます。

光田先生、土肥先生、渡辺先生が、これからも学究の道を究められ、ますますご活躍されることを心から祈念致しております。

平成29年3月吉日

日本大学大学院知的財産研究科長 池 村 正 道

